

食の 持続性を 実現

気候変動や地政学リスク、世界の人口増などによって食の持続性は危機に直面しています。
食によって社会から認められ、事業活動を続けてきた雪印メグミルクグループは、「食の持続性」を実現するという社会課題解決に貢献していきます。

進化する 「健土健民」の 精神

雪印メグミルクグループは、社会課題解決に挑む創業者たちの精神を受け継ぎ、日本国内のみならず世界にまたがる現代の社会課題の解決を目指し、進化させていきます。

健土健民

およそ100年前、当時の日本の社会課題は、日本国内における安定的で豊かな食生活の実現でした。
創業者たちは、「健土健民」のことばにその想いを込め、酪農乳業という事業を通じた解決に向け、立ち上がりました。

編集方針

雪印メグミルクグループでは2018年から「雪印メグミルクレポート(統合報告書)」を発行しています。雪印メグミルクグループは、2023年5月に新たなグループ中期経営計画を策定しました。本レポートでは、その「雪印メグミルクグループ中期経営計画2025」を軸とした価値創造、企業価値向上、雪印メグミルクグループの持続的成長について、財務・非財務の両面からお伝えします。

「雪印メグミルクレポート2023(統合報告書)」のご利用にあたり

本レポートは、株主・機関投資家の方々、企業倫理委員会からのご意見・ご要望を反映するよう努め、ステークホルダーの皆様にとって重要度の高い情報を掲載しています。

対象期間 2022年4月1日～2023年3月31日(一部に左記期間以外の情報も含む)
 対象組織 雪印メグミルク株式会社およびグループ会社(ただし、すべての情報を網羅しているわけではありません)
 発行時期 2023年9月(年次版として毎年発行予定)
 参考にしたガイドライン
 国際統合報告評議会(IIRC)「国際統合報告フレームワーク」 ISO26000「社会的責任に関する手引」
 GRIスタンダード 経済産業省「価値協創のための統合的開示・対話ガイダンス」

「雪印メグミルクレポート2023(統合報告書)」の位置づけ

	財務情報	非財務情報
法定開示	有価証券報告書 決算短信	コーポレートガバナンス報告書
任意開示	雪印メグミルクレポート(本冊子) 決算説明資料	ESGデータ

IRサイト: <https://www.meg-snow.com/ir/>
 サステナビリティサイト: <https://www.meg-snow.com/csr/>

本レポートに記載されている事業予測などの将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき、雪印メグミルクグループが判断した見通しであり、その達成を雪印メグミルクグループとして約束する趣旨ではありません。また、実際の業績などは、業況の変化などにより、本レポートの予想数値と異なる場合があります。

表紙デザインについて
 2023年1月に稼働した「雪印メグミルク イノベーションセンター」の外観写真です。未来に向けてミルクの新たな価値を創造する拠点のひとつとして、食の持続性実現への決意を込めて表紙デザインに採用しました。(→P23)

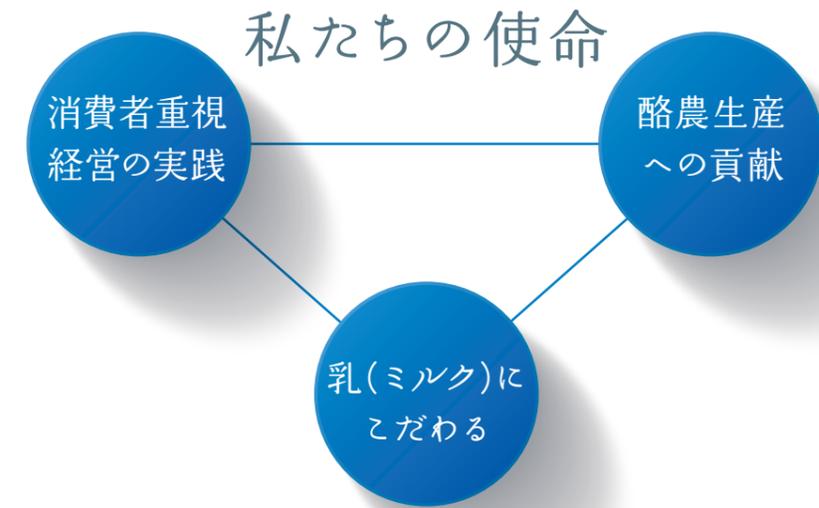
目次

雪印メグミルクグループについて
 編集方針/目次 P.3
 雪印メグミルクグループ グループ企業理念/
 雪印メグミルクグループの存在意義・志 P.4
 雪印メグミルクグループ
 企業行動憲章/消費者に向けた姿勢 P.5
トップメッセージ
 トップメッセージ P.6
雪印メグミルクグループの価値創造
 価値創造プロセス P.15
 雪印メグミルクグループのサステナビリティ経営 P.17
 重要課題(マテリアリティ)およびKPI(2023年度より) .. P.18
 財務担当役員メッセージ P.19
 雪印メグミルク 価値創造のあゆみ P.21
 バリューチェーン P.23
 事業概要(事業分野別) P.28
 業績ハイライト P.35

成長を支える基盤・サステナビリティ
 重要課題(マテリアリティ)およびKPI(2022年度実績) P.37
 サステナビリティ推進 P.38
 気候変動への対応 P.39
 CO₂排出量の削減について P.41
 プラスチック削減に向けた取組み P.42
 生物多様性保全に向けた取組み P.43
 グループ中期経営計画2025を実現するための人的資本投資... P.44
 人権 P.48
 持続可能な食の提供 P.50
 食による健康への貢献 P.51
 持続可能な酪農への貢献 P.52
 地域社会への貢献 P.53
コーポレート・ガバナンス
 コーポレート・ガバナンス P.55
 社外取締役対談 P.62
 企業倫理委員会 P.65
 コンプライアンス P.66
 リスクマネジメント P.68
企業情報他
 経営成績・財務分析(2022年度) P.69
 10年データ P.71
 会社情報(2023年3月31日現在) P.73
 サステナブルファイナンスの取組み P.76

雪印メグミルクグループ グループ企業理念

雪印メグミルクグループの企業理念は、私たちの使命とコーポレートスローガンで構成します。



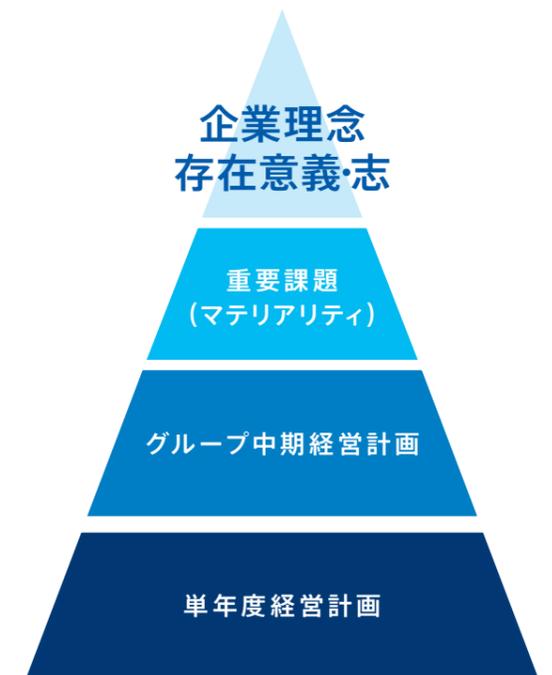
私たち雪印メグミルクグループは、3つの使命を果たし、ミルクの新しい価値を創造することにより、社会に貢献する企業であり続けます。

コーポレートスローガン

未来は、ミルクの中にある。
Make the Future with Milk

雪印メグミルクグループの存在意義・志

社会課題解決を目指す
 「健土健民」という創業の精神で、
 乳で培われた私たちの幅広い知見や機能
 (ミルクバリューチェーン)によって、
 食の持続性を実現する



雪印メグミルクグループ 企業行動憲章

雪印メグミルクグループは、サプライチェーンのすべての段階において、「雪印メグミルクグループ 企業行動憲章」に基づき、関係法令、国際ルールおよびその精神を遵守し、高い倫理観のもと公正かつ誠実に行動していきます。

1. 持続可能な企業価値の向上と社会課題の解決

私たち雪印メグミルクグループは、雪印メグミルクグループの企業理念を実現するため、事業活動を通じて、企業価値の向上に努めるとともに、社会課題の解決を図ることにより持続可能な社会の発展に貢献します。

2. 消費者との信頼関係

私たち雪印メグミルクグループは、品質管理を徹底し、社会に有用で安全な商品・サービスをお届けします。また、消費者基本法に基づく「消費者の権利」と「事業者の責務」を認識し、商品・サービスに関する適切な情報提供や誠実なコミュニケーションを行い、消費者の満足と信頼を獲得します。万が一提供した商品に事故が発生した場合は、消費者の安全を最優先に考えて適切に対応します。

3. 公正な事業活動

私たち雪印メグミルクグループは、高い倫理観と責任感を持って、企業倫理（コンプライアンス）を遵守し、その徹底を図り、公正で透明かつ自由な競争に基づく事業活動を行います。また、反社会的勢力との取引・交友など一切の関係を持ちません。

4. 公正な情報開示、ステークホルダーとの対話

私たち雪印メグミルクグループは、消費者、酪農生産者、株主をはじめとするすべてのステークホルダーの理解と信頼が得られるように、企業情報を積極的、効果的かつ適時、適切に開示します。また、企業価値の向上を図るためにステークホルダーとの継続的な対話を通じて透明性のある経営を実践します。

5. 働き方の改革と職場環境の充実

私たち雪印メグミルクグループは、従業員の能力を高め、人格、多様性、個性を尊重する働き方を実現します。また、自由と活気に満ちた企業風土を構築し、健康と安全に配慮した、働きがいのある職場環境を整備していきます。

6. 環境問題への取組み

私たち雪印メグミルクグループは、気候変動への対応、水資源の有効活用、廃棄物の適正管理をはじめとした環境問題を人類共通の課題としてとらえ、サプライチェーンを通じて自然にやさしい技術・商品・サービスを開発していくことで、環境保全に取り組みます。

7. 人権の尊重

私たち雪印メグミルクグループは、サプライチェーンを通じて、基本的人権を尊重し、人種、国籍、性別、宗教、思想などの違いによる差別の禁止や、強制労働、人身売買、児童労働などの不当な扱いの禁止、安全かつ健康的な労働環境の提供などの取組みを進めます。

8. 危機管理の徹底

私たち雪印メグミルクグループは、平時より緊急事態が発生した場合のことを想定した準備を怠りません。火災や天災、事故などといった緊急事態が発生した場合は、人命を優先した上で、事業活動の維持継続・早期復旧に努めます。また、会社の財産を大切に、個人情報をはじめとする機密情報を厳重に管理します。

9. 地域社会とのパートナーシップ

私たち雪印メグミルクグループは、「良き企業市民」として、すべての事業所において、積極的に社会に参画し、コミュニケーションを図ることで、信頼の絆をつくり地域社会の発展に貢献します。

10. 本憲章の徹底

雪印メグミルクグループの経営に携わる者は、本憲章の精神の実現が自らの役割であると認識し、グループ企業内への徹底を自ら率先して行います。あわせて、サプライチェーンにかかわるすべての人に本憲章の精神に基づく行動を促します。

2021年6月1日 制定

消費者に向けた姿勢

消費者基本法を根幹とした消費者重視経営

雪印メグミルクグループは、消費者基本法に定められた消費者の権利に向き合い、事業者の責務を果たすために、「4つ」の基本姿勢に基づき取り組んでいきます。

